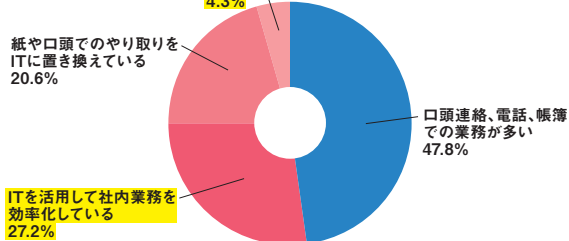


区内事業者の実態調査結果について ～ITの活用状況～

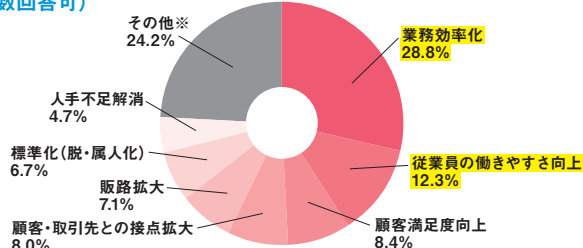
世田谷区は、区内の事業者の実態調査を行いました（P4-5「世田谷区における中小企業の景況」の付帯調査として実施）。調査では、ITの活用状況やSDGsの認知度、従業員の採用状況等について聞きました。本号では、ITの活用状況についての調査結果をお知らせします。調査結果では、ITを積極的に取り入れている事業者は31.5%で、IT導入目的は、業務効率化（28.8%）や従業員の働きやすさ向上（12.3%）が多くなっています。また、IT活用の課題は、人材不足（18.6%）が最も多く、DX（デジタルトランスフォーメーション）については、既に対応している事業者は5%にとどまっています。なお、SDGsの認知度等の調査結果は次号に掲載する予定です。

問1 ITの活用状況

ITを差別化や競争力強化に積極的に活用している
4.3%

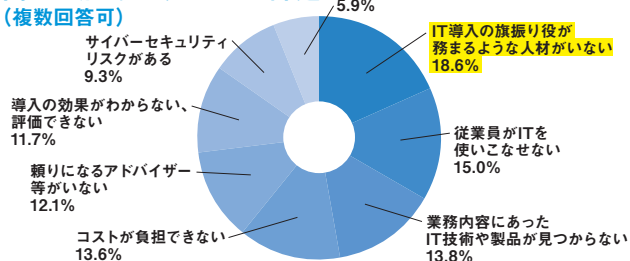


問2 IT導入の目的（複数回答可）



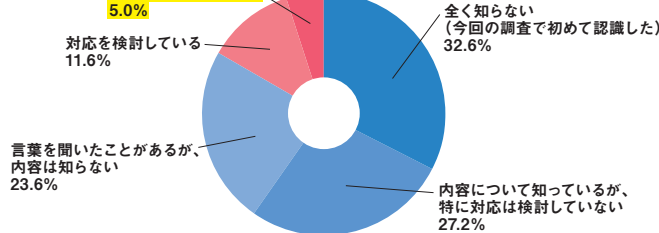
問3 IT活用にあたっての課題（複数回答可）

既存システムが稼働し、最新システムに移行できない
5.9%



問4 DXの認知度・対応状況

既に対応を始めている
5.0%



※数値については小数点第2位を四捨五入しており、計算値が一致しない場合があります。

※問2「その他」の質問項目内訳…社内コミュニケーション促進/テレワーク導入/非接触対応/新商品・新サービス開発/企業風土の変化/人材の育成・技能継承/人材の採用数・定着率の向上/経営者のITに関する興味関心/他社が成功しているから/その他

お問合せ 世田谷区経済産業部産業連携交流推進課 TEL:03-3411-6644 FAX:03-3411-6635

心のこもったおもてなしになりました！ 折り鶴プロジェクト

認知症の方が
折った鶴で
モザイクアート！

日頃、介護事業所等のデイサービスプログラムのなかで折り紙制作の活動に取り組んでいる認知症の方と、その方たちを支援する方(注1)が折った折り鶴が、モザイクアートとして完成しました。このプロジェクトは、世田谷おもてなし・交流・参加実行委員会(注2)の賛同団体である認知症在宅生活サポートセンターが発案し、同実行委員会に提案して実現。9月上旬に区役所第二庁舎1階ロビーで展示されました。認知症の方の「地域貢献したい」という思いを発信することで、生きがい創出や、認知症のイメージを変えるきっかけになることがプロジェクトの目的です。好評につき、令和3年12月末まで大蔵総合運動場温水プールで展示されています。



(注1) 事業所職員、家族、ボランティア、地域の方々等

(注2) 東京2020大会をきっかけに、官民が連携した取組みを行うことを目的に設立されました

区がアメリカ合衆国のホストタウンであることから赤・青・白の折り鶴で星条旗と世田谷区の紋章を制作

世田谷区のコロナワクチン 接種会場運営に協力 ～世田谷信用金庫～

今年4月、世田谷信用金庫は、創立100周年を迎え地域貢献の一環として、世田谷区のワクチン接種に協力し、世田谷産業プラザの接種会場で金庫職員が事務などの会場運営に携わりました。様々な場で、当金庫は地元根差した活動に積極的に取り組んでいます。



（発行）

東京商工会議所世田谷支部

TEL:03-3413-1461 FAX:03-3413-1465
https://www.tokyo-cci.or.jp/setagaya

公益財団法人世田谷区産業振興公社

TEL:03-3411-6613 FAX:03-3412-2340
https://www.setagaya-icl.or.jp

世田谷区経済産業部

TEL:03-3411-6653 FAX:03-3411-6635
https://www.city.setagaya.lg.jp

〒154-0004 世田谷区太子堂2-16-7世田谷産業プラザ